

エコアクション 21

環境経営レポート



環境省
エコアクション21
認証番号 0009785

対象期間 令和5(2023)年7月1日～令和6(2024)年6月30日



特定建設業

株式会社 興徳企業

令和6年8月31日作成



© 2010 kumamoto.pref.kumamon

目次

01 環境経営方針 ----- P.1

02 事業所の概要・認証登録の範囲 ----- P.2

03 実施体制 ----- P.3

04 環境経営目標 ----- P.4-5

05 2023 年度 環境経営目標の実績評価と次年度の取組 --- P.6-8

06 環境経営計画及び取組状況の評価 ----- P.9-10

07 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 ----- P.11

08 代表者による全体評価と見直し ----- P.11

09 環境活動・取組例 ----- P.12-17

基本理念

私達は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が、人類共通の重要課題であると認識しております。

限りある資源を有効利用し、現場での作業、環境に優しい製品の提案・販売等、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって環境経営の継続的改善に取り組めます。

環境行動

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ① 技術力向上（資格の取得・勉強会の実施）
- ② 電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③ 建設資材の省資源、廃棄物の3R(減量・再利用・再生利用)の推進
- ④ 節水
- ⑤ 環境に配慮した製品の提案、販売の促進
- ⑥ 5S活動の推進

2. 環境関連法規則や当社が約束したことを順守します。

制定日：平成25年4月1日

改定日：平成31年4月1日

改定日：令和2年8月30日

 特定建設業
株式会社 興徳企業

代表取締役 中尾 好一郎

事業所の概要

1. 事業所名 株式会社興徳企業 代表取締役 中尾 好一郎
-
2. 所在地 本社：熊本市北区徳王1丁目2番72号
資機材倉庫：熊本市北区和泉町1158-5
-
3. 事業内容 水道施設工事 管工事 土木一式工事 舗装工事
エルピーガス及びガス機器類の販売
-
4. 許可 建設業許可：熊本県 第10738号
液化石油ガス販売事業者：熊本県知事 43A0462
液化石油ガス保安機関認定：熊本県知事 43A0227R A
産業廃棄物収集運搬業許可：熊本県 第04301110772号（自社分のみ）
-
5. 沿革 昭和60年10月1日 株式会社 中尾商店 創立
平成5年6月10日 株式会社 興徳企業に社名変更
平成12年9月25日 八代支店開設
令和4年3月25日 八代支店閉鎖
-

6. 事業の規模

項目	単位	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	188	259
資本金	万円	2,000	2,000
社員数	人	15	14
車台数	台	9	9

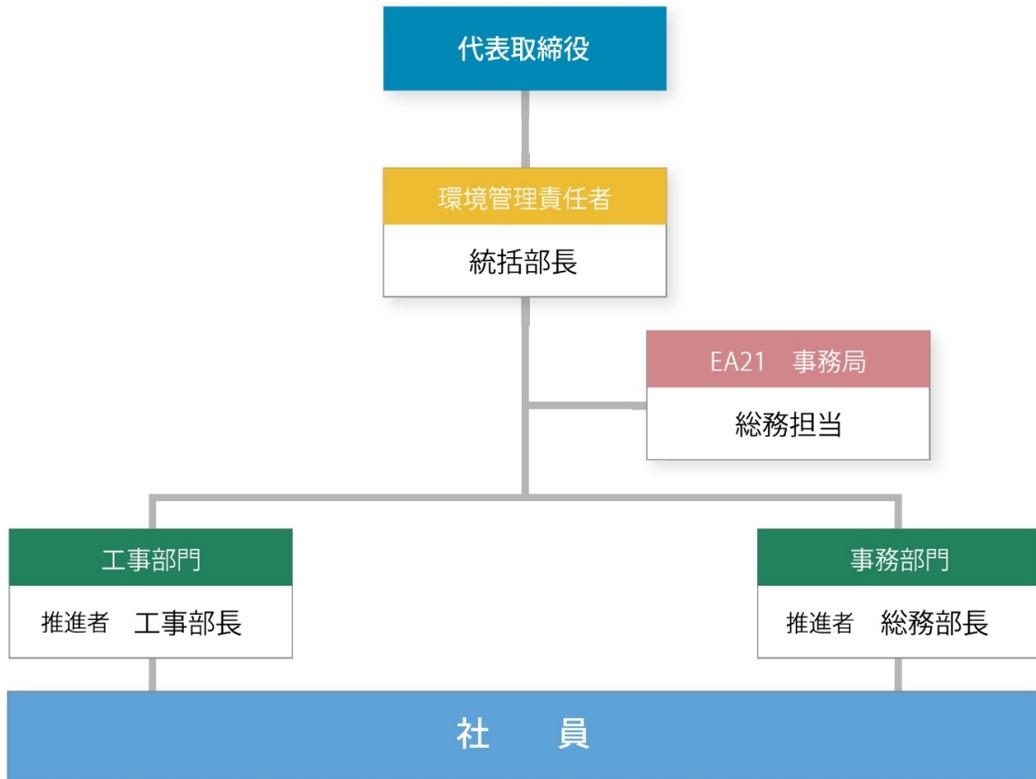
会計年度 期首：7月 期末：6月

7. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：統括部長 事務局担当者：総務部長
電話 096-322-1100 Fax 096-322-1118

認証登録の範囲

全組織・全事業を対象とする。



役割	責任及び権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を定める 環境経営方針を定める環境管理責任者を任命する 環境への取組を適切に実行するための資源（人員・設備・費用）を準備する 全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、運用、維持に関する責任と権限を有する 文書・記録を確認し承認する 環境経営システムの運用状況、実績を代表者に報告する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の立案を行う 文書の作成、管理を行う 一般教育の実施、管理を行う システム運用上の事務管理を行う
部門推進者	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ部門計画を立案する 実務教育を実施する 実施状況を確認し、記録をとる
社員	<ul style="list-style-type: none"> 担当する業務に関連した環境目標及び環境活動計画の内容、手順を認識し、自らの役割を実行する

方針	項目	基準年度及び実績	目標及び目標値			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		7月～6月	7月～6月	7月～6月	7月～6月	
技術力向上	資格の取得	会社の取得方針に基づく必要な資格等の取得	会社の取得方針に基づく必要な資格等の取得	会社の取得方針に基づく必要な資格等の取得	会社の取得方針に基づく必要な資格等の取得	
	勉強会の実施	勉強会	勉強会	勉強会	勉強会	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減 (事務所) k W h	1,836	1,818	1,799	1,781	
	※CO2換算(kg-CO2)	887	878	869	860	
	電気使用量の削減 (倉庫) k W h	629	623	616	610	
	※CO2換算(kg-CO2)	304	301	298	295	
	電気使用量の削減 (現場) k W h	2,339	2,316	2,292	2,269	
	※CO2換算(kg-CO2)	1,130	1,118	1,107	1,096	
	ガソリン使用量の削減 L	7,266	7,193	7,121	7,048	
	CO2換算(kg-CO2)	16,857	16,688	16,520	16,351	
	軽油使用量の削減 (車両・重機) L	18,408	18,224	18,040	17,856	
	CO2換算(kg-CO2)	47,494	47,019	46,544	46,069	
LPガス使用量の削減 Kg	7.0	6.9	6.9	6.8		
CO2換算(kg-CO2)	21.0	20.8	20.6	20.4		
	CO2換算(kg-CO2)の合計量	66,692	66,025	65,358	64,692	
水	節水 m ³	64.0	63.4	62.7	62.1	
廃棄物	産業廃棄物のリサイクルの推進	100%	100%	100%	100%	
グリーン購入	グリーン購入の推進	62%	62%	62%	62%	

※ 購入電力の排出係数は、令和3(2021)年の九州電力の調整後排出係数0.382(kg-CO2/k W h)を使用。

方針	項目	基準年度及び実績	目標及び目標値			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		7月～6月	7月～6月	7月～6月	7月～6月	
製品サービス	製品・サービスにおける環境配慮型機器・器具等の販売	27件	30件	30件	30件	
社会貢献	社会・地域貢献	2回以上/1年	2回以上/1年	2回以上/1年	2回以上/1年	
5S活動	5S活動の推進	100%	5S活動を具体化し、実践する			

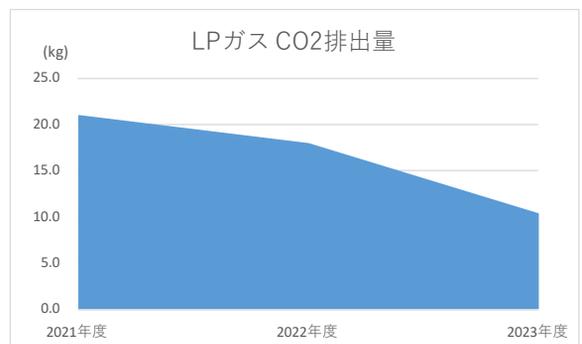
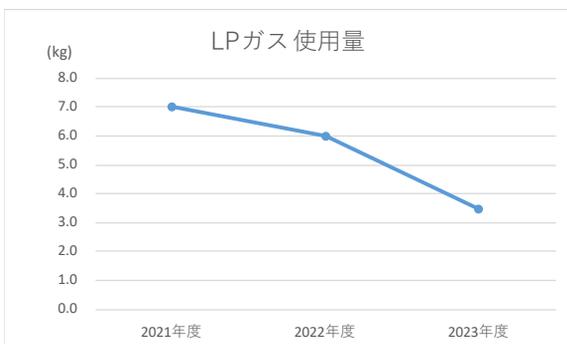
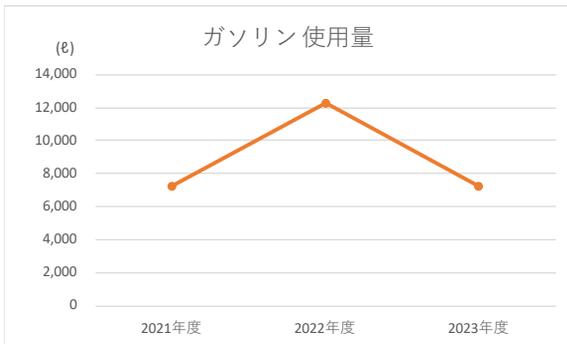
判定基準 ○：100%以上 △：70%～99% ×：70%以下【是正措置対象】

項 目		目標	実績	達成度	判定	
技術 力 向 上	資格の取得	会社の取得方針に基づく 必要な資格等の取得	検定試験・講習の受検	100%	○	
	勉強会の実施	勉強会の実施	WEBを利用した勉強 メーカーの指導による実習	100%	○	
(評価と今後の取組内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 資格取得について、施工管理技術検定等の受験や作業主任者等の講習を受講し、1級土木施工管理技士1名、2級土木施工管理技士1名が取得できた。CPDS認定「デキスク」のWEB講習を利用して、各自ユニットの取得につなげている。今後も試験や講習の案内を「社員共有LINE」で周知して、資格取得へ上げていきたい。更に、勉強会で得た知識を現場で生かされるよう、モチベーションをあげたい。 						
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電気使用量	kWh	1,799	1,794	100%	○
	(事務所)	kg-CO2	869	685	127%	○
	電気使用量	kWh	2,908	2,976	98%	△
	(倉庫・現場)	kg-CO2	1,405	1,137	124%	○
	ガソリン使用量	L	7,121	7,254	98%	△
		kg-CO2	16,520	16,829	98%	△
	軽油	L	18,040	11,675	155%	○
	(車両・重機等)	kg-CO2	46,544	30,120	155%	○
	LPガス	kg	6.9	3.5	196%	○
		kg-CO2	20.6	10.4	198%	○
合計	CO2排出量	kg-CO2	65,358	48,781	134%	○
(注) 達成率はkg-CO2						
(評価と今後の取組内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量について、社屋に太陽光発電パネルを設置したことにより、電気使用量・CO2排出量の削減ができています。また、建物も機密性・断熱が考えられており、今後もこの住環境を活かし、空調機の温度設定などに留意し、電力使用量の削減に努めていきたい。 軽油に関しては、施工現場との距離の違いや、施工内容によるものが大きく重機を使用する掘削作業の量が多かったりすると増大する。今後も車両の運用や施工手順を工夫をして、燃料の使用量を抑えていきたい。 						
廃棄物リサイクルの推進		100%	100%	100%	○	
(評価と今後の取組内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 現場から搬出された産業廃棄物は、マニフェスト伝票により中間処分場へ搬出し、その後適正にリサイクル処理が来ている。 事務所から発生する機密文書は、シュレッダー処理ではなく処理業者に処理を依頼し、100%リサイクルを目指している。 資材置場においては廃棄物の種類が混在しないように、分類を定めて常に分別するという意識を持ち、環境を整えていきたい。 						

判定基準 ○：100%以上 △：70%～99% ×：70%以下【是正措置対象】

項目	目標及び目標値	実績	達成度	判定
水	62.7m ³	135.0m ³	46%	×
(評価と今後の取組内容) ・前年度の数量より増加している。これは新設した和泉の資機材置場の使用量を含めた為で、今後は、事務所と資機材置場を別管理としていく事とする。引き続き水使用量の削減として、水漏れの点検等を実施して節水活動を推進していく。				
グリーン購入	62%	62%	100%	○
(評価と今後の取組内容) ・事務用品購入にあたっては、グリーン製品（エコマーク・GPN）表示の物の購入を推奨した。その結果、前年度と同じ割合で推移した。今後も継続して取り入れていく。 ・現場での砕石・舗装材においては、発注者より新材使用の指定がない限り、再生材（再生粒調砕石・再生クランチャーラン・再生密粒アスコン・再生粗粒アスコンなど）を使用している。				
製品・サービス	27件	30件	111%	○
(評価と今後の取組内容) ・工事の依頼を受けた際は、節水型のトイレや蛇口等の器具を紹介、説明し節水への理解を深めてもらい、環境に配慮した製品を薦めた。(15件中、15件成約) ・燃焼器具の取替えについては、熱効率の良いエコワン、エコジョーズ等への設置を提案した。(15件中、15件成約) 今後も環境に配慮した製品売上等の推進に努めていく。				
社会・地域貢献	2回	3回	150%	○
(評価と今後の取組内容) ・熊本市管工事協同組合の「清掃活動」・「節水コマ取付ボランティア」に関しては、今後も参加していく。 ・現場の近隣住民の方からの要望に耳を傾け、環境に係る活動を継続していく。 ・熊本市（2007年から）熊本県（2011年から）と防災協定を締結しているので、要請があれば協力していく。				
5S活動の推進	100%	85%	85%	△
(評価と今後の取組内容) ・社屋、資機材置場も新しく変わり、「5S活動」を実践していくことが必要となっている。 常に清潔な状態を心がけると、業務の効率化が良くなり、在庫管理の徹底にもつながるので、従業員全員で使いやすい環境を目指していく。				

エネルギー使用量



1) 環境経営計画の取組状況の評価

環境方針	環境目標	責任者	活動計画	担当	取組状況の評価 (本社)	次年度の取組
技術力向上	資格の取得	社長	1.仕事に必要な資格を調べる	全社員	○	継続
			2.自分に必要な資格を調べ、取得に向けて計画を立てる	〃	○	
3.受験し、資格を取得する			〃	○		
	勉強会の実施	社長	1.勉強会の内容を検討する	〃	○	
			2.必要に応じ、講師を招き勉強会をする	〃	○	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	総務部長	1.空調を使用する場合は、室内温度を夏季は28度 冬季は20度を目安に使用する	全社員	○	
			2.エアコンフィルターの掃除をする(2回/年)	〃	○	
			3.不要照明の消灯	〃	○	
			4.クールビズ、ウォームビズを実施する	〃	○	
			5.太陽光、自然光の活用	〃	○	
			6.資機材置場、現場事務所での節電に努める (不要な照明・空調の温度設定に留意し適切に使用)	〃	○	
	ガソリン使用量の削減	工事部長	1.車両の始業前点検、定期点検を確実にを行う	全社員	○	継続
			2.空気圧の点検を実施する	〃	○	
			3.アイドリングストップを実施する	〃	○	
			4.不要物を積載しない	〃	○	
			5.給油記録による運転管理の実施	〃	○	
	軽油使用量の削減 (車両)	工事部長	1.車両の始業前点検、定期点検を確実にを行う	工事部門	○	継続
2.空気圧の点検を実施する			〃	○		
3.アイドリングストップを実施する			〃	○		
4.不要物を積載しない			〃	○		
5.給油記録による運転管理の実施			〃	○		
6.各車両ごとの責任者を決める			〃	○		
軽油使用量の削減 (重機類)	工事部長	1.車両の始業前点検、定期点検を確実にを行う	工事部門	○	継続	
		2.アイドリングストップを実施する	〃	○		
		3.特自検の際は、点検と共に記録をとる	〃	○		
		4.給油記録による運転管理の実施	〃	△		
廃棄物	産業廃棄物のリサイクルの推進	工事部長	1.廃棄物の区分を徹底する	工事部門	○	継続
			2.廃棄物の区分ごとの排出量を計測する	〃	○	
	一般廃棄物の削減	総務部長	1.両面コピー・2in1コピーの徹底	総務部門	○	
			2.裏紙使用	〃	○	
水	節水	総務部長	1.蛇口に節水ステッカーを貼り、節水を呼び掛ける	全社員	○	継続
			2.蛇口に節水コマ(節水型蛇口)を設置する	〃	○	
グリーン購入	グリーン購入の推進	総務部長	1.コピー用紙等については、再生紙を使用する	総務部門	○	継続
			2.エコマーク、環境配慮製品を優先的に使用する	〃	○	
			3.グリーン製品購入に努める	〃	○	
			4.省エネルギー適合基準製品を購入する	〃	○	
			5.グリーン購入率を把握する	〃	○	

【評価基準 ○：できている △：改善の余地あり ×：出来ていない】

環境方針	環境目標	責任者	活動計画	担当	取組状況の評価(本社)	次年度の取組
製品サービス	環境配慮製品の販売・拡大(水回り)	社長	1.水道関連器具において、節水型への取替を提案し販売につなげる	工事部長	○	継続
	環境配慮製品の販売・拡大(ガス部門)	社長	1.ガス機器販売において、エコジョーズ等の環境配慮製品の提案・設置の推進	工事部長	○	
	環境に配慮した現場施工(工事部門)	社長	1.現場施工において、使用する機器・重機類は点検しCO2の低排出・低騒音に努める 2.施工地域の住民への周知を徹底し、安全に施工できるよう工事手順を遵守する	工事部長	○	
社会貢献	社会・地域貢献	工事部長	1.熊本市管工事協同組合及び青年部主催のボランティア活動に参加する	全社員	○	継続
			2.現場近隣での、公園・カーブミラー・交通標識等の清掃実施	〃	○	
5S活動	5S活動の推進	社長	1.整理 不要なものを捨てる	全社員	○	継続
			2.整頓 使いやすく並べて表示する	〃	○	
			3.清掃 きれいに掃除しながら、あわせて整理する	〃	○	
			4.清潔 きれいな状態を維持する	〃	○	
			5.躰 きれいに使うよう習慣づけよう	〃	△	

【評価基準 ○：できている △：改善の余地あり ×：出来ていない】

2) 次年度の取組

本年度の取組は、おおむね順調に推移し一定の成果に繋がったので、次年度も継続して取り組むこととする。

環境法規等一覧表 兼 遵守評価記録で実施しています。

対象法規等名称

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. 廃棄物処理法 | 2. 騒音規制法 | 3. 振動規制法 |
| 4. 建設リサイクル法 | 5. リサイクル法 | 6. 家電リサイクル法 |
| 7. 自動車リサイクル法 | 8. 浄化槽法 | 9. フロン排出抑制法 |

遵守評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
 地域からの苦情や訴訟もなく、関係当局から違反などの指摘もありません。
 今後も定期的に順守確認を行い、違反のないよう努めていきます。

今年度は、事務所の電気及び軽油使用量は目標を達成することが出来ました。事務所の電気量に関しては、太陽光を設置したことで、大幅に削減することが出来ています。今後も、目標達成が出来るよう工夫しながら節電・節水に努めていきたいと思えます。

今期は、事務所移転から3年が過ぎ、代表取締役が変更になり、会社において大きな変化を迎えております。エコアクション21の認証登録からも、11年になります。この機会を、全員でさらに環境に関する意識を高め、学びあい、環境づくりに一層努めて行きたいと考えています。

見直し結果

項目	見直し結果
環境経営方針	継続していく
環境経営目標	事務所移転に伴い環境に変化があり基準年度・内容をを見直した
環境経営計画	事務所移転に伴い環境に変化があり内容をを見直した

2024年8月31日
 株式会社 興徳企業
 代表取締役 中尾好一郎

令和2年度

●新社屋 令和3年1月4日より業務開始



太陽光発電屋上パネル



太陽光発電量監視装置



働きやすい職場環境



令和4年度

●熊本市優良工事表彰【国道266号（城南町千町外）舗装補修工事】



●現場周辺の道路・側溝などの清掃



●環境に配慮した製品の販売実績

・節水型トイレへの交換・センサー付き蛇口への交換・エコジョーズの販売 他



●今年度の環境経営の取組を考える



●SDGs登録へ向けて



令和5年度

省エネハイブリッド給湯器の提案
【エコワン】



これまでの給湯器と同じタイプ

省エネで光熱費を安く

省エネはトップクラス
光熱費をさらに安く

従来型給湯器	エコジョーズ	ハイブリッド給湯器
取替費用	◎	○
熱効率	△	◎
光熱費	△	◎

導入費用が安い

ランニングコスト
年間約1.2万円削減

ランニングコスト
年間約5.6万円削減

トータル費用10年間で
約5万円お得

トータル費用10年間で
約40万円お得

ガスと電気で
災害時でも安心

超省エネで 光熱費がとっても安い ハイブリッド給湯器 ECO ONE

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて

CO2排出量を大幅削減

45%削減

従来型ガス給湯器: 1,506kg
ハイブリッド給湯器 ECO ONE: 818kg

ガスと電気のハイブリッドで
イトコドリだから省エネ

太陽光発電と併用で
自家消費で給湯もお得

納入実績



表示パネル



CO2 排出量の表示



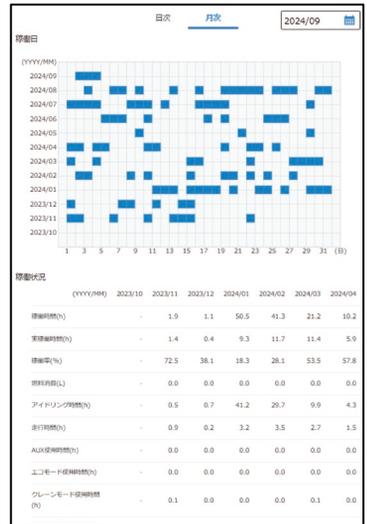
令和5年度

熊本市優良工事表彰
【西区上代1丁目配水管布設替他2件工事】



令和5年度

環境に配慮した建設機械の使用



超低騒音型・排出ガス適合車

管理システム

令和5年度

社会・地域貢献活動



- 2023年11月 節水コマ取替 【熊本市立龍田西小学校】
- 2024年 2月 節水コマ取替 【熊本市立川口小学校】



- 2024年5月10日
緑の基本計画アクションプログラム 【金峰山エリア】



令和5年度

働きやすい職場
【働き方改革につながる取組】

● 年次有給休暇の取得への取組

年間カレンダーの作成を行い、年次有給休暇を取得しやすいようにした。

● 残業時間を減らすための取組

・書類作成の移行

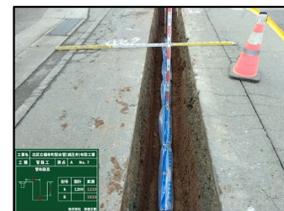


現場作業者の残業時間を減らすために、事務所側で作成出来るようマニュアル化し業務の分担を進めている。

会社LINEを活用し、現場作業中にも事務所とのやり取りを行えるようになり就業時間内に同時進行で終われるよう進めている。

・電子黒板の活用

現場作業中につど記載する必要がなく、事前に電子黒板を作成するため現場での時間短縮に繋がっている。また、撮影した写真をその場でクラウドにあげることが出来るので書類作成者がすぐに確認でき、写真を使用することが出来るため、作業効率UPに繋がっている。



令和5年度

熊本県SDGs登録事業者として目標の実現



2023年秋に、熊本県SDGs登録事業者として登録されました。
 持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの精神を企業活動として取り組む事と致しました。
 企業価値の向上、持続的な社会課題の実現のため、SDGsの目標に向けて取り組んで参ります。



**熊本県SDGs登録事業者
登録証**

熊本県SDGs登録事業者として登録し、ここに証します。

登録事業者：株式会社興徳企業

登録期：第5期

登録期間：令和5年(2023年)9月7日から
令和8年(2026年)9月6日まで

令和5年(2023年)9月7日
 熊本県知事 蒲島 郁夫



熊本県 

©2010熊本県くまモン